

追悼文目録抄

我部, 政男 / GABE, Masao

(出版者 / Publisher)

法政大学沖縄文化研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

沖縄文化研究

(巻 / Volume)

12

(開始ページ / Start Page)

521

(終了ページ / End Page)

526

(発行年 / Year)

1986-03-13

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00002670>

追悼文目録抄

追悼 中野好夫 「全き人は一氣に動く」を體現 篠

田一士 (朝日ジャーナル 一九八五年三月八日)

行動と文学—中野好夫と阿部知二— 阿部良雄

(みすず 一九八五年三月号)

不肖の弟子の思い出 小島信夫 (同)

中野先生のおもしろさ 小田成光 (同)

なまぐさい話 安東仁兵衛 (同)

思い出すこと 中村妙子 (同)

二人の「中野先生」 加藤敬事 (同)

※ ※

一つの中野好夫像—夫子自身の文章(一九三七—一九

八二)による (同)

一編集者からみた中野先生—追悼—中野好夫— 中

島岑夫 (波 一九八五年四月号)

最後の言葉 河盛好蔵 (新潮 一九八五年四月号)

中野先生のこと 木下順二 (同)

先生のお顔 小田島雄志 (同)

司馬江漢への肉迫 北小路 健 (同)

中野好夫さんをしのぶ 古在由重 (世界 八五年四

年四月号)

八面六臂の人 河盛好蔵 (同)

戦前の先生と戦後の先生 木下順二 (同)

中野シェイクスピア学 小津次郎 (図書 一九八五

年四月号)

中野先生と沖繩 新崎盛暉 (同)

弔辞 桑原武夫 (図書 一九八五年五月号)

中野さんの思い出 朱牟田夏雄 (ちくま 一九八五

年四月号)

臍の緒の話 瀬戸内寂聴 (同)
ひとり思うこと 木下順二(ちくま一九八五年五月号)
沖繩から中野先生へ 新崎盛暉 (同)
思いちがひ 瀬戸内寂聴 (同)

中野先生の死 小田 実 (学燈 一九八五年四月)
「それならオレはライスカレー」 利根川裕 (同)
中野先生の「不満の冬」 小津次郎 (同)

中野先生を悼む 佐伯彰一 (すばる 一九八五年四月)

中野好夫先生とシェイクスピア 小津次郎 (悲劇喜劇 一九八五年四月)

《追悼》 中野好夫先生

ある私的追悼の辞 久野 収
核廃絶にかけて——中野好夫氏を偲ぶ 森瀧 市郎
沖繩問題からみた中野先生 新崎 盛暉
敬慕と感謝と哀惜 秦 正流
中野先生のこと 山本 安英

中野先生と『マスコミ市民』 安孫子誠人
(マスコミ市民 二〇一号 一九八五年四月)
追悼—中野好夫先生「嗚呼、中野好夫先生」 小田成光 (法と民主主義 第一九六号 一九八五年四月)

追悼特集・中野好夫と沖繩

□対談□
最後に「沖繩自立論」
——中野先生の足跡を追って——
相対化の哲学を生きる

革新政權の助っ人

沖繩への発言をやめた背景

黙すに時あり 語るに時あり

——無関係世代の中野像——
□追悼・中野好夫□

中野先生と都知事選挙

新崎 盛暉
我部 政男
色川 大吉
新川 明
福地 曠昭
金城 睦
岡本 恵徳
岡宗 根 勇
仲里 雅人
友利 雅人
岩垂 寿喜男

中野好夫氏追悼

小 伝

まだ早すぎた!

中野好夫さん——わが師、わが友

偉い友人

されぎれの思い出——中野好夫君追憶

無 題

心の支えを失う

東大時代の思い出

中野さんを偲んで

痛みの恵み

中野君追悼——山を歩いた日の彼

中野さんの思い出

中野さん有難うございました

モーニング・コートの中野先生

精悍 中野好夫氏

燈火管制下の読書会

中野先生を偲ぶ

Sunt Lacrimae Rerum

「中野学校」の校外生

ささやかな追悼

野崎 考
朱牟田 夏雄
古在 由重
河盛 好蔵
北村 常夫
木下 順二
西川 正身
中島 文雄
柏倉 俊三
大和 資雄
相良 次郎
平井 正穂
福原 雛恵
三 神 勲
成田 成寿
植田 虎雄
小川 和夫
八木 林太郎
上野 景福
久野 収

「小国寡民の思想」について いしい・たかし
中野好夫年譜 我部政男・小宮止弘編
(新沖繩文学 六四号 一九八五年六月三〇日)

地方自治の望ましいあり方
——復帰との関連において——
「沖繩問題」に引つ張り出す
かけ出し記者のみた中野像

中野 好夫

沖繩、革新統一と中野さん
真の知識人像を示す
市民中野好夫について、
また市民そのものについて
執念の平和行進参加
両輪——資料センターと沖繩記者会

中野好夫さんと
惜別、中野好夫先生
こよなく人民を愛した人
中野好夫先生を偲ぶ
「中野好夫記念文庫」のこと
中野先生の物の見方・考え方
中野好夫先生を偲ぶ

上田耕一郎
鹿野 政直
小 田 実
岩 垂 弘
横田 球生
儀 同 保
小宮 正弘
瀬長龜次郎
平良 良松
外間 守善
大田 昌秀
宮里 政玄
當間 嗣光
由井 晶子

「沖繩問題」に引つ張り出す
かけ出し記者のみた中野像

中野 好夫

「小国寡民の思想」について
——復帰との関連において——

いしい・たかし

中野好夫年譜 我部政男・小宮止弘編
(新沖繩文学 六四号 一九八五年六月三〇日)

「あの頃」
 思い起すこと 加納 秀夫
 中野先生の英米近代劇講義 近藤いね子
 大道の歌 斎藤 光
 残された課題 高村 勝治
 中野さんのこと 日高 八郎
 わが心の師 中野先生 中村 英勝
 シェイクスピア研究の面白さ 江口 裕子
 最後の授業 小津 次郎
 中野家のお正月 佐伯 彰一
 荒御魂と和御魂と——温帯・中野好夫先生 網淵 謙錠
 演習の思い出その他 小池 銈
 研究室のストーヴ 百日鬼恭三郎
 戦後の教室風景 沖浦 和光
 温情の人 篠田 一士
 昭和25年の演習 高松 雄一
 ヴィヴァ、中野好夫先生 高野 悦子
 シェイクスピアからチャップリンまで中野里皓史
 「市民中野好夫ここに眠る」 小田 実
 中野先生と沖繩 新崎 盛暉
 中野先生の跋文 小宮 正弘

（英語青年第一三二巻、第四号、一九八五年七月）
 ほおづき提灯 中野利子（ちくま）
 一九八五年十一月）
 中野好夫氏を語る 丸山真男（『中野好夫集』第八卷月報11、一九八五年八月）
 中野好夫・藤谷多喜雄両先生を哭す
 中村克郎（わたつみのこえ 一九八五年夏）

平和運動実践の英文学者 中野好夫氏死去／評伝・故中野好夫氏大衆・弱者の側に身置き、平和と民主主義追求（岩垂弘編集委員）／原水禁運動調整役失う／中野好夫氏を悼む 人間存在への限らない愛着 敗戦後の自己批判に爽快さ 木下順二
 （朝日新聞 一九八五年二月二〇日）天声人語（コラム）（朝日新聞 一九八五年二月二一日） 平和運動

中野好夫さん、けさ死去（日刊ゲンダイ 一九八五年二月二一日） 中野好夫さん死去—美濃部都政のブレン（夕刊フジ 一九八五年二月二一日） 平和・反核求めたりベラリスト 中野好夫氏死去。 反権力の市民学者 久野 収（哲学者）の話。 選挙への協力に感謝 飛鳥田一雄前社会党委員長の話／立民の立場で平和運動 中野氏行動重視の実践家／評伝 人間へのあくなき興味 反骨貫いた中野好夫氏（北海道新聞 一九八五年二月二〇日） 中野好夫氏死去 沖繩問題と深くかわる／沖繩問題への関心に感銘 屋良朝苗元県知事の話／平和を行動で示した学者 新崎盛暉氏（沖繩大学学長）の話／米軍の占領行政を批判—主席公選を支援—人間への興味で貫いた反骨 中野好夫氏の生涯（高橋実共同通信編集委員）（沖繩タイムス 一九八五年二月二〇日） 中野好夫先生と沖繩問題—人間愛に根ざした現実主義 新崎盛暉／大弦小弦（コラム）（沖繩タイムス 一九八五年二月二一日） 「沖繩闘争」支える 英文学者中野好夫氏死去。 沖繩にとって大切な人失った 屋良朝苗元県知事の話／奥行き深い反骨 中野好夫氏の生涯 革新論壇の旗手（高橋実共同通信編集委員）（琉球新報 一九八五

や明るい都政／中野好夫氏死去。 思索と行動の81歳／中野好夫さん、美濃部さん追うように／ 社会派の硬骨漢 作家の丹羽文雄さんの話進歩的文化人明るい都政—中野好夫さん死去よみうり寸評（コラム） 読売新聞 一九八五年二月二〇日） 文学と人間に鋭い眼光—中野好夫氏を悼む 丸谷才一 編集手帳（読売新聞 一九八五年二月二一日） 平和運動で足跡、英文学者 中野好夫氏死去／温かく、優しい人 木下順二氏（劇作家の話／機械に生かされるのは嫌 中野好夫氏最後まで「反骨」貫く 家族に守られ眠るように／「教師じゃ食えぬ」と毒舌も 行動重視の実践家／頭がよく万能選手 河盛好威氏（仏文学者）（東京新聞 一九八五年二月二〇日） 英文学者 平和運動をリード 中野さん死去／反核貫き美濃部都政支え 多才な知識人、中野さん／ 作家・丸谷才一氏、宮本顕治共産党議長（毎日新聞 一九八五年二月二〇日） 梓をはみ出た肉眼の、野夫、—中野好夫氏を悼む 野島秀勝（毎日新聞 一九八五年二月二二日） 英文学者、平和運動を推進 中野好夫氏死去（日本経済新聞 一九八五年二月二〇日） 英文学者で平和運動家 中野好夫氏死去（サンケイ新聞 一九八五年二月二〇日）

（英語青年第一三二巻、第四号、一九八五年七月）
 ほおづき提灯 中野利子（ちくま）
 一九八五年十一月）
 中野好夫氏を語る 丸山真男（『中野好夫集』第八卷月報11、一九八五年八月）
 中野好夫・藤谷多喜雄両先生を哭す
 中村克郎（わたつみのこえ 一九八五年夏）

平和運動実践の英文学者 中野好夫氏死去／評伝・故中野好夫氏大衆・弱者の側に身置き、平和と民主主義追求（岩垂弘編集委員）／原水禁運動調整役失う／中野好夫氏を悼む 人間存在への限らない愛着 敗戦後の自己批判に爽快さ 木下順二
 （朝日新聞 一九八五年二月二〇日）天声人語（コラム）（朝日新聞 一九八五年二月二一日） 平和運動

年二月二〇日） 人間「中野好夫」―警句・毒舌・批評精神―幅広い交友、語録と逸話 高橋 実共同通信編集委員、／金口木舌（コラム）（琉球新報 一九八五年二月二二日、反核貫き美濃部都政支え……行動派知識人、中野さん。並外れた文学的実力 作家丸谷才一氏。各分野に見識あった 宮本顕治共産党議長。赤旗 一九八五年二月二一日）

我部政男 編

中野好夫先生が逝かれて一年になります。その間に、雑誌や新聞で、多くの追悼文が書れ掲載されました。ここにそのタイトルの一覧を掲げました。とても、そのすべてを調査、収集することができませんでした。なお、地方の各紙で共同通信の記事を約四〇紙にわたって掲載されたことを附記しておきます。その他に、中野好夫先生の追悼文についてご存じの方がいましたらご教示の程お願い申し上げます。